

## 【都市計画マスタープラン（現行）の構成】

<b>都市計画マスタープランの前提（第1章）</b>
本マスタープランの役割や位置付け、対象範囲や期間、見直しの考え方などについて示します。
<b>都市の動向（第2章）</b>
京都市の特性や、京都市の現状と動向などを示します。
<b>全体構想 ～都市の将来像～（第3章）</b>
<b>都市計画の理念</b> 京都市基本構想に即した、都市計画の理念を示します。 <実現に向けて重視する点> 「都市の持続」「都市の独自性」「都市の経営」
<b>都市計画に関する基本的な考え方</b> 全市民的な都市づくりを貫く大きな考え方を示します。
<b>都市の将来像</b> ～エココンパクトな都市構造～
③相互につながる個性的な地域の形成 +
②都市活力の向上と低炭素社会を実現する都市構造の形成 +
①京都市の特性を踏まえた土地利用の展開
<b>目標とする都市の姿</b> 目標とする都市の姿を5つの面から示します。 （「環境」「経済」「生活」「文化」「安心・安全」）
<b>戦略的な視点</b> 目標とする都市の姿を、戦略的に目指します。
<b>全体構想 ～都市計画の方針～（第4章）</b>
・目標とする都市の姿の実現に向け、京都市全体としての都市計画の方針を、都市計画の分野毎に定めます。
○土地利用 ○歩くまち ○景観 ○防災 ○道路 ○公園・緑地 ○市街地整備 ○水・河川 ○その他市民の暮らしを支える施設
・具体的な手法については、都市計画の方針に即した上で、その時々に応じた多様な手法を選択できるものとします。
<b>方面別指針【新設】</b>
<b>地域まちづくり構想（第5章）</b>

